

令和 7 年 9 月 定例会

提案説明（9 月 8 日提出分・決算認定）

ただいま上程になりました「市議案第 7 4 号 令和 6 年度大阪府豊中市各経済歳入歳出決算認定」について説明します。

説明につきましては、「提案説明資料（決算認定）」により説明します。

1 ページ目、令和 6 年度各会計決算総括表です。

一般会計と 6 つの特別会計、それから下段には 3 つの公営企業会計の決算状況を記載しております。

表は、左から、区分、予算現額、決算額として歳入、歳出、差引、繰越すべき一般財源、そして実質収支です。

その隣が令和 5 年度の実質収支で、右端の単年度収支は令和 6 年度と令和 5 年度の実質収支の差引きです。

はじめに、一般会計です。

歳入の決算額 1 千 9 7 2 億 6 千 3 0 2 万 1 千 7 8 8 円に対して、
歳出の決算額は 1 千 9 1 7 億 9 千 4 6 万 6 千 5 9 0 円で、
差引である形式収支は 5 4 億 7 千 2 5 5 万 5 千 1 9 8 円です。
ここから、繰越すべき一般財源 5 億 4 千 2 4 7 万 8 千円を差し引きしたものが
実質収支で、4 9 億 3 千 7 万 7 千 1 9 8 円の黒字です。
令和 5 年度の実質収支が 5 6 億 7 千 7 5 6 万 4 千 3 6 8 円であったことから、
それを差し引いた単年度収支は 7 億 4 千 7 4 8 万 7 千 1 7 0 円の赤字です。

続きまして、国民健康保険事業特別会計は、
実質収支が 2 億 2 千 3 2 9 万 4 9 円の黒字で、
単年度収支が 3 億 2 千 1 3 7 万 5 千 6 9 1 円の赤字です。

次の後期高齢者医療事業特別会計は、
実質収支が 3 億 3 千 1 3 8 万 2 千 9 8 3 円の黒字で、
単年度収支が 4 千 4 2 4 万 3 千 8 7 7 円の黒字です。

次の介護保険事業特別会計は、
実質収支が 6 億 7 千 6 7 5 万 6 千 1 2 7 円の黒字で、
単年度収支が 1 億 5 1 1 万 5 千 4 3 4 円の赤字です。

次の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計は、
実質収支が 2 千 9 8 1 万 7 千 2 1 2 円の黒字で、

単年度収支が４千６３０万４千２３９円の赤字です。

次の公共用地先行取得事業特別会計、財産区特別会計は、実質収支・単年度収支ともにゼロです。

一般会計と特別会計の合計につきましては、
歳入が２千８９１億７千７３２万９千８６１円、
歳出が２千８２４億８９０万２７円で、
実質収支は６１億９千１３２万３千５６９円の黒字、
単年度収支は１１億７千６０３万８千６５７円の赤字です。

２ページ目、一般会計財政状況です。

令和３年度から令和６年度までの決算額の推移と、表の一番右には対前年度増減率を示しております。

まず歳入です。歳入規模の大きいものまたは増減の動きの大きいものについて、令和６年度決算額と対前年度増減率を説明します。

市税、７２７億４５８万４千円、２．３％の減。

地方譲与税、１９億９千２７５万２千円、３．７％の減。

利子割交付金、９千４５万１千円、２４．８％の増。

配当割交付金、１０億３４２万９千円、３８．８％の増。

株式等譲渡所得割交付金、１３億２千７７万円、７０．４％の増。

法人事業税交付金、１０億２千９４４万４千円、９．１％の増。

地方消費税交付金、９４億８千６２２万４千円、５．１％の増。

地方特例交付金、２１億４千３６５万１千円、４８０．６％の増。

地方交付税、１３０億５千４４６万６千円、１３．２％の増。

２段下の小計欄は主要な一般財源の合計で、１千３０億３千７１３万３千円、２．９％の増。

3 段下の国庫支出金、4 7 9 億 2 千 9 0 6 万 9 千円、6 . 1 % の増。

府支出金、1 4 3 億 4 千 8 8 3 万 6 千円、1 0 . 7 % の増。

財産収入、6 億 1 千 8 8 9 万 2 千円、4 7 . 4 % の減。

2 段下の繰入金、5 9 億 6 千 5 5 0 万 2 千円、3 . 6 % の増。

2 段下の諸収入、7 1 億 5 千 3 9 万 8 千円、1 1 0 . 5 % の増。

市債、8 0 億 1 千 1 5 9 万 5 千円、2 6 . 9 % の増。

歳入合計は、1 千 9 7 2 億 6 千 3 0 2 万 2 千円、6 . 5 % の増です。

なお、増減率の大きいものにつきましては、のちほど歳入歳出目別一覧表を用いての説明の際に、主な増減理由を説明します。

次の 3 ページは、歳出決算を性質別に分類した表です。

主な増減理由も併せて説明します。

2 段目の人件費は、3 0 8 億 7 千 3 1 7 万 3 千円、1 1 . 3 % の増で、会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始や給料、退職手当等が増加したことによるものです。

物件費は、2 4 9 億 1 千 2 6 4 万 1 千円、1 . 9 % の増で、定期予防接種の A 類及び B 類疾病の接種者が増加したことや朝 7 時校門開放を開始したこと等により、物件費全体は増となったものです。

その 2 段下の扶助費は、6 4 9 億 8 千 9 5 6 万 1 千円、0 . 3 % の増で、住民税非課税世帯への給付金等の実施や障害者福祉費等の伸びにより、対前年度比増となったものです。

補助費等は、2 3 3 億 4 千 6 8 9 万円、1 5 . 8 % の増で、定額減税補足給付金給付事業の実施により、対前年度比増となったものです。

投資的経費は、1 4 2 億 4 千 5 6 8 万 3 千円、4 1 . 4 % の増で、（仮称）児童相談所整備事業や（仮称）南校整備事業等により、対前年度比増となったものです。

公債費は、８９億２千９８６万３千円、２．１％の増で、主に民生債の元利償還の増により、対前年度増となったものです。

積立金は、９３億１千４４８万円、７．７％の増で、主に財政調整基金および公共施設等整備基金への積立により、対前年度増となったものです。

以上、４段下の歳出合計は、
１千９１７億９千４６万７千円、７．１％の増です。

次の４ページは、一般会計決算状況で、平成１７年度から令和６年度までの推移を示しております。

平成１６年度より実質収支は黒字を維持しており、平成２６年度に特定目的基金の繰入運用も解消して、今回に至っております。

次の５ページは、一般会計のプライマリーバランスの推移を示しております。下の棒グラフのとおり、平成１５年度までプライマリーバランスが赤字で、平成１６年度に黒字に転じた以降は、黒字基調を維持しており、令和６年度についても、６１億２千４百万円の黒字となっております。

次の６ページから８ページまでは、普通会計の財政構造、経常収支比率について掲載しております。

経常収支比率は、市税収入等の経常的な歳入一般財源を分母とし、人件費や扶助費など経常的な支出から特定財源を控除した額、経常経費充当一般財源を分子とした比率です。６ページの上の表の経常収支比率欄の太字部分について、令和６年度は９５．６％で、前年度の９２．１％に比べ３．５ポイントの悪化となっております。

これは、比率計算上の分母となる歳入の経常一般財源で、地方交付税、株式等譲渡所得割交付金等が増となったものの、分子となる歳出の経常経費充当一般財源では、会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始や人事院勧告に準じた職員給与等の改定、児童相談所開設準備に係る人件費の増などにより、全体として歳入増加を上回る歳出一般財源の増となったことが主な要因です。

次に、下の表は財政力指数３か年平均の推移で、令和６年度は、０．８５となっております。

この指標は、普通交付税の算定に係る基準財政需要額が分母、基準財政収入額が分子となっており、令和６年度については、分母、分子の伸び率に大きな差がなかったため、前年から比率の変動はございませんでした。

9 ページは基金の状況です。

左側の表は財政調整基金及び14の積立基金の残高を示しており、令和6年度末のこれら基金残高の合計は、表の一番下383億4千762万円で、前年度に比べ、40億7千115万円の増です。

これは主に、後年度の財源として活用するため、財政調整基金を計画的に積立てたことなどによるものです。

次の10ページは「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の概要です。

はじめに、1の実質赤字比率ですが、本市は一般会計等において黒字のため、バーで表示しております。

2の連結実質赤字比率についても、本市は関連会計が黒字または資金剰余のため、バーで表示しております。

3の実質公債費比率は、3か年平均で2.0%です。

4の将来負担比率は、分子における将来負担額から減じる要素が大きく、計算の結果、マイナスの数値となりましたので、バーで表示しております。

最後に、5の資金不足比率ですが、これは公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率で、本市の各公営企業会計では資金不足が生じていないため、こちらもバーで表示しております。

令和6年度の健全化判断比率の4指標及び資金不足比率については、いずれも早期健全化基準等を下回っている状況です。

次の11ページでは、健全化判断比率等について、それぞれの指標が対象とする会計の範囲を示しております。

図の中ほどに水色の矢印で実質赤字比率の対象が一般会計等とされており、これは本市においては一般会計、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計及び公共用地先行取得事業特別会計が対象となっております。

その右の連結実質赤字比率は、これらに加えて国民健康保険事業や介護保険事業などの特別会計や病院事業会計などの公営企業会計までを対象としたもので、全会計連結での赤字比率を見るものです。

その隣の実質公債費比率は、豊中市伊丹市クリーンランドなどの一部事務組合や広域連合を含めた実質的な公債費の比率です。

その右の将来負担比率は、豊中都市管理株式会社など、出資法人まで含めたものを対象としております。

以上で総括的な説明を終わります。

つづいて、各会計の歳入歳出決算について「歳入歳出目別一覧表」より説明します。

まず1ページ目、一般会計の歳入です。

款ごとに決算額と対前年度増減率を報告し、増減の大きなもの等につきましては、その主な要因を説明しますが、一般会計財政状況で決算額および対前年度増減率を説明している款については内訳別に説明します。

2ページ1行目の市税のうち、
2行目の市民税の決算額は353億2千658万円、
対前年度5.5%の減、うち3行目の個人市民税が対前年度6.3%の減、4行目の法人市民税は対前年度0.4%の増で、主に、住民税の定額減税による個人市民税の減によるものです。

5行目の固定資産税は、267億2千220万9千円、1.2%の増です。

3ページ17行目の地方譲与税は19億9千275万2千円、3.7%の減。

26行目の利子割交付金は、9千45万1千円、24.8%の増、

29行目の配当割交付金、4ページ32行目の株式等譲渡所得割交付金といったいわゆる「金融所得割交付金」の増は、この間の金融・株式市場の動向を反映したものです。

5ページ47行目の地方特例交付金は、21億4千365万1千円、
480.6%の増、主に、定額減税減収補てん特例交付金によるものです。

52行目の地方交付税は、130億5千446万6千円、
13.2%の増で、主に、社会保障関係経費の伸びや臨時財政対策債への振替額が減少したこと等による増です。

6 ページ 58 行目の分担金及び負担金は、14 億 3 千 9 7 2 万 2 千円、
3. 7 % の増で、主に、63 行目土木費負担金において、服部天神駅周辺地区
整備に係る土地区画整理事業費負担金の増などによるものです。

66 行目の使用料及び手数料は、20 億 7 千 1 7 0 万円、
2. 8 % の増で、主に、7 ページ 72 行目土木使用料において、道路占有料の
収入が増となったものです。

83 行目の国庫支出金のうち 84 行目の国庫負担金は、
370 億 2 千 1 5 1 万 7 千円、13. 0 % の増で、主に、児童手当や私立認定こ
ども園等の負担金に係る民生費国庫負担金の増、(仮称) 南校整備事業の実施に応
じて教育費国庫負担金が増となったものです。

8 ページ 90 行目の国庫補助金は、106 億 8 千 6 4 2 万 3 千円、13.
4 % の減で、91 行目の総務費国庫補助金において、物価高騰対応重点支援地
方創生臨時交付金の増があったものの、92 行目の民生費国庫補助金におい
て、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が減となったことによ
り、国庫補助金全体で減となったものです。

99 行目の国庫委託金は、2 億 2 千 1 1 2 万 8 千円、198. 5 % の増で、
主に、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る総務費国庫委託
金の増によるものです。

104 行目の府支出金のうち 9 ページ 105 行目の府負担金は、
109 億 2 千 6 3 0 万 7 千円、14. 8 % の増で、主に、私立認定こども園等の負
担金や障害者福祉費等の伸びに係る民生費府負担金の増加などによるものです。

110 行目の府補助金は、27 億 3 千 1 5 4 万 5 千円、2. 2 % の増で、
主に、112 行目の民生費府補助金において、私立認定こども園等に係る補助
金が増となったものです。

120 行目の府委託金は、6 億 9 千 9 8 万 3 千円、10. 6 % の減で、
令和 5 年度は大阪府知事選挙及び大阪府議会議員選挙に係る歳入が増額されま
したが、令和 6 年度は実施されなかったため、減となったものです。

10 ページ 126 行目の財産収入のうち 130 行目の財産売却収入は、
4 億 3 千 9 6 7 万 8 千円、58. 4 % の減で、これは令和 5 年度に比べ不動産
売却収入が減となったものです。

133行目の寄附金は、4億4千234万8千円、13.8%の増で、主に、豊洲池売却に伴う財産区特別会計寄附金の増によるものです。

11ページ142行目の繰入金は、59億6千550万3千円、3.6%の増で、156行目、財政調整基金繰入金等の増加によるものです。

12ページ163行目の諸収入は、71億5千39万8千円、110.5%の増で、国費の追加交付等によるものです。

13ページ183行目の市債のうち、14ページ189行目の消防債は、12億1千360万円、755.9%の増で、主に消防指令システム構築業務に係る負担金等によるものです。

以上、192行目、歳入合計は、決算額1千972億6千302万2千円、前年度比6.5%の増です。

次に15ページ、一般会計の歳出です。

16ページ1行目の議会費は、決算額6億4千236万4千円、2.3%の増です。

4行目の総務費、224億5千683万8千円、26.6%の増です。

うち、5行目の総務管理費、198億5千707万6千円、30.8%の増で、主な要因としては、18ページ32行目の定額減税補足給付金給付事業費について、令和6年分所得税及び令和6年度分個人住民税の定額減税に伴い、減税可能額が納税額を上回る場合、納税義務者に差額分を支給したものです。

20ページ61行目の民生費は、1千8億95万9千円、3.1%の増です。

うち、21ページ62行目からの社会福祉費について、65行目障害者福祉費の伸びや、物価高騰により生活への負担感が大きい住民税非課税世帯等への給付金支給に伴い、69行目社会福祉対策費が増となったものです。

22ページ80行目からの児童福祉費について、

23 ページ 93 行目の児童相談所整備費は、18 億 2 千 8 万 1 千円、137.8%の増で、児童相談所開設に係る施設の整備により増となったものです。

24 ページ 105 行目の国民健康保険事業費は、44 億 1 千 6 7 3 万 2 千円、5.7%の増で、国民健康保険事業特別会計への繰出金です。

25 ページ 112 行目の衛生費は、125 億 7 千 1 9 万 3 千円、1.0%の増です。

うち、113 行目からの保健衛生費について、115 行目の感染症予防費は、19 億 3 千 6 1 8 万 1 千円、18.8%の減で、新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費の減によるものです。

26 ページ 128 行目の病院費は、25 億 3 千 5 2 7 万円 7 千円、2.7%の増で、病院事業会計への補助金・負担金です。

129 行目の水道費は、1 億 7 千 8 0 6 万 3 千円、40.2%の減で、水道事業会計への補助金・負担金です。

131 行目からの清掃費について、27 ページ 137 行目のクリーンランド負担金は、14 億 4 千 7 6 9 万 7 千円、42.2%の増です。

138 行目の労働費は、2 億 4 千 4 8 7 万 3 千円、10.6%の増です。

143 行目の農林水産業費は、5 千 6 5 万 9 千円、9.2%の増です。

28 ページ 147 行目の商工費は、11 億 9 千 9 4 7 万 1 千円、27.0%の増です。

うち、150 行目の商工業振興費は、11 億 3 8 7 万 5 千円、30.0%の増で、消費喚起策としてのマチカネポイントアプリにおけるプレミアム付商品券の発行や還元キャンペーン等の実施によるものです。

153 行目の土木費は、107 億 6 千 1 5 4 万 3 千円、3.3%の減です。

うち、154行目からの土木管理費について、
156行目の公共用地先行取得事業費繰出金は、2億9千803万6千円、
43.2%の減です。

29ページ160行目からの道路橋梁費について、
164行目の道路橋梁新設改良費は、9億7千947万1千円、
8.1%の増で、主に、千里地区歩路橋長寿命化に係る工事費によるもので
す。

30ページ170行目の下水道費は、29億5千470万9千円、
3.0%の増で、公共下水道事業会計への負担金・補助金です。

172行目からの都市計画費について、177行目の都市再開発事業費は、
4億8千639万4千円、52.6%の増で、主に、庄内・豊南町地区の道路
整備に係る工事費や木造住宅等の除去費の補助によるもの、178行目の街路
事業費は、2億7千484万9千円、54.6%の減で、主に、曽根島江線整
備事業に係る土地購入費、補償金の減です。

181行目からの住宅費について、31ページ184行目の住宅整備費は、
2億9千836万5千円、49.0%の減で、主に、市営住宅の予防保全対象
工事件数の減によるものです。

185行目からの消防費について、187行目の常備消防費は、
54億3千657万3千円、26.2%の増で、主に、消防指令システム構築
業務に係る負担金等によるもの、191行目の消防施設整備費は、5億2千6
93万8千円、75.0%の増で、主に、高規格救急車や消防ポンプ自動車等
の消防車両更新によるものです。

193行目の教育費は、201億6千354万6千円、16.3%の増で、
うち、32ページ194行目からの教育総務費について、
201行目の児童生徒支援費は、7億9千145万2千円、138.8%の増
で、主に、支援学級在籍児童生徒の状況に応じた支援教育サポーターの配置に
よるもの、203行目の小中一貫校整備費は、24億6千934万4千円、
136.0%の増で、主に、千成小学校及び旧せんなりこども園の解体工事や
(仮称)南校建設工事の実施によるものです。

204行目からの小学校費について、
206行目の小学校教育振興費は、5億7千327万2千円、
59.5%の増で、市立小学校及び義務教育学校（前期課程）の児童に係る修

学旅行費や行事費、ドリル、テストなどの副教材費の公費負担によるものです。

33 ページ 210 行目からの中学校費について、
212 行目の中学校教育振興費は、4 億 5 千 9 0 5 万円、59.8%の増で、市立中学校及び義務教育学校（後期課程）の生徒に係る修学旅行費や行事費、ドリル、テストなどの副教材費の公費負担によるものです。

216 行目からの社会教育費について、
217 行目の社会教育総務費は、16 億 9 千 1 7 6 万 4 千円、
24.4%の増で、新田小学校や泉丘小学校等の放課後こどもクラブの土曜日運営委託の開始等によるもの、34 ページ 226 行目の公民館整備費は、2 億 1 千 8 5 万 5 千円、1744.5%の増で、空気調和設備機器改修工事によるものです。

230 行目の公債費は、89 億 2 千 9 8 6 万 3 千円、2.1%の増です。

35 ページ 234 行目の諸支出金は、77 億 8 千 9 9 4 万 8 千円、8.7%の増で、主に、235 行目の財政調整基金積立金について、後年度の財源として活用するため、不用額等を積立てたことによるものです。

239 行目の予備費は、予算執行時において、予備費から当該執行科目へ充当を行うため、決算額としてはゼロとなります。令和6年度は、日向灘地震に伴う被災地支援に係る時間外勤務手当及び能登半島地震に伴う被災地支援にかかる経費として災害対策費に充当しました。

以上、242 行目、歳出合計は、
決算額 1 千 9 1 7 億 9 千 4 6 万 7 千円、前年度比 7.1%の増です。

次に 36 ページ、国民健康保険事業特別会計です。

歳入について、37 ページ 1 行目の国民健康保険料は、
81 億 1 千 4 4 6 万 8 千円、1.1%の増です。

8 行目の国庫支出金は、2 千 9 4 2 万 2 千円、2097.3%の増で、国民健康保険システム改修等に係る国庫補助金の増です。

12 行目の府支出金は、254 億 2 3 1 万 7 千円、5.5%の減です。

38 ページ 16 行目の繰入金は 44 億 1 千 6 7 3 万 2 千円、5.7%の増です。

以上、39 ページ 34 行目、歳入合計は、決算額 385 億 7 千 7 8 万 8 千円、前年度比 3.7%の減です。

次に 40 ページ、国民健康保険事業特別会計の歳出です。

41 ページ 10 行目の保険給付費は、247 億 7 千 6 8 1 万 1 千円、5.2%の減で、そのうち、11 行目の療養諸費は、212 億 5 千 1 5 8 万円、5.6%の減です。

43 ページ 29 行目の国民健康保険事業費納付金は、123 億 1 千 4 2 6 万 5 千円、1.0%の増で、大阪府が府内全体の医療給付費等必要額を市町村ごとに按分し、本市に示された額を納付するものです。

以上、45 ページ 54 行目、歳出合計は、決算額 383 億 4 千 7 4 9 万 8 千円、前年度比 2.9%の減です。

次に 46 ページ、後期高齢者医療事業特別会計です。

歳入について、47 ページ 1 行目の後期高齢者医療保険料は 68 億 3 千 4 3 1 万 5 千円、11.1%の増です。

8 行目の繰入金は 13 億 7 千 7 3 5 万 1 千円、9.1%の増で、一般会計からの保険基盤安定繰入金等です。

以上、48 ページ 24 行目、歳入合計は、決算額 85 億 9 5 3 万 8 千円、前年度比 10.3%の増です。

次に 49 ページ、後期高齢者医療事業特別会計の歳出です。

50 ページ 6 行目の後期高齢者医療広域連合納付金は、80 億 3 千 7 6 6 万 7 千円、10.2%の増で、被保険者から納付された保険料収入と一般会計からの繰入金を財源として広域連合に納付したものです。

以上、51 ページ 15 行目、歳出合計は、決算額 81 億 7 千 8 1 5 万 5 千円、前年度比 10.1%の増です。

次に５２ページ、介護保険事業特別会計です。

歳入について、５３ページ１行目の保険料は、８７億１千６６万２千円、１５．９％の増です。

７行目の国庫支出金は、１０２億２千９２９万３千円、１．８％の増で、介護給付費国庫負担金や調整交付金などです。

５４ページ１７行目の支払基金交付金は、１０９億２千４４３万円、４．１％の増です。

２１行目の府支出金は、５５億５千６８４万８千円、３．７％の増です。

５５ページ３０行目の繰入金は、６３億１千４７３万５千円、７．４％の減です。

以上、５６ページ５３行目、歳入合計は、決算額４２５億２千８７３万円、前年度比３．４％の増です。

次に５７ページ、介護保険事業特別会計の歳出です。

５８ページ１１行目の保険給付費は、３８７億８千５３２万９千円、３．９％の増です。

６２ページ４４行目の地域支援事業費は、１５億３７３万９千円、２．６％の増です。

以上、６４ページ６５行目、歳出合計は、決算額４１８億５千１９７万４千円、前年度比３．７％の増です。

次に６５ページ、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計です。

歳入につきまして、６６ページ７行目の諸収入について、うち、８行目の貸付金元利収入は、３千４５８万８千円、１．５％の増です。

以上、１３行目、歳入合計は、決算額１億１千２０７万８千円、前年度比１４．３％の減です。

次に 67 ページ、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計の歳出です。

68 ページ 1 行目の母子父子寡婦福祉資金貸付事業費は、
177 万 3 千円、71.1%の増です。

5 行目の公債費は 5 千 5 2 3 万 5 千円、49.9%の増です。

以上、11 行目、歳出合計は、決算額 8 千 2 2 6 万 1 千円、
前年度比 50.3%の増です。

次に 69 ページ、公共用地先行取得事業特別会計です。

歳入について、70 ページ 1 行目の財産収入は、
3 億 5 千 4 5 1 万円、36.0%の減です。

4 行目の繰入金は、4 億 4 千 9 0 7 万 2 千円、21.5%の減です。

以上、12 行目、歳入合計は、決算額 1 3 億 1 千 5 5 8 万 2 千円、
前年度比 5.1%の減です。

次に 71 ページ、公共用地先行取得事業特別会計の歳出です。

72 ページ 1 行目の公共用地先行取得費は、5 億 1 千 2 0 5 万 8 千円、
31.6%の増で、服部天神駅周辺地区における駅前広場整備事業のための用
地取得によるものです。

以上、73 ページ 13 行目、歳出合計は、決算額 1 2 億 8 千 9 5 万 4 千円、
前年度比 7.6%の減です。

次に 74 ページ、財産区特別会計です。

豊中市（旧熊野田村）財産区など、23 財産区の決算で、
歳入につきまして、75 ページ 4 行目の財産収入は、
8 億 5 9 2 万 1 千円、16623.9%の著増で、主に、豊洲池売却によるも
のです。

以上、76 ページ 16 行目、歳入合計は、決算額 8 億 7 千 7 5 9 万 2 千円、
前年度比 885.3%の増です。

次に 77 ページ、財産区特別会計の歳出です。

78 ページ 1 行目の財産費は、
8 億 7 千 7 5 9 万 2 千円、885.3 % の増です。

以上、80 ページ 26 行目、歳出合計は、歳入合計と同額です。

以上、概括的でございますが、令和 6 年度各経済歳入歳出決算認定の説明を
終わります。